

2013年度会員名簿更新状況

会員名簿維持管理委員会委員長

10期・浜野 絢也

1. 2013年度会員名簿更新件数

	登録変更者数	備考
2013年4月	0	
2013年5月	2	
2013年6月	9	
2013年7月	0	
2013年8月	2	
2013年9月	13	
2013年10月	608	ほぼInajin返送分
2013年11月	0	
2013年12月	901	卒業生797名及びInajin返送分追加
2014年1月	0	
2014年2月	15	
2014年3月		
合計	1,550	

2. 年次別会員名簿登録数

2014.1/31現在

年次	入学年	総数	状態「通常」	備考1	備考2
1	1984	536	353	各ハウス2クラス	AB
2	1985	819	568	各ハウス3クラスに	EFG
3	1986	1,099	764	各ハウス4クラスに	IJKL
4	1987	1,128	798		ABCD
5	1988	1,148	799		EFGH
6	1989	1,139	780		IJKL
7	1990	1,127	756		ABCD
8	1991	1,090	752		EFGH
9	1992	1,092	755		IJKL
10	1993	1,099	774		ABCD
11	1994	1,058	750		EFGH
12	1995	945	711	1クラスあたりの生徒数減少	IJKL
13	1996	955	724		ABCD
14	1997	961	733		EFGH
15	1998	933	744		IJKL
16	1999	945	763		ABCD
17	2000	955	783	学籍番号が00～に	EFGH
18	2001	953	821		IJKL
19	2002	964	845		ABCD
20	2003	773	705	1ハウスが伊奈学園中学校に	EFGH
21	2004	809	744		IJKL
22	2005	773	732	学籍番号が2005～に	ABCD
23	2006	787	759		EFGH
24	2007	796	769		IJKL
25	2008	795	774	提供データに性別の記載	ABCD
26	2009	799	799		EFGH
27	2010	797	797		IJKL
	総合計	25,275	20,052		

 現在の名簿データで住所が「通常」となっている総数

伊奈学園同窓会ウェブサイト更新実績 2013/04～2014/01

更新日	更新内容
2013/06/19	いなじん たまりBar開催報告
2013/07/02	平成25年度第1回理事会開催のお知らせ（同窓会ブログ）
2013/08/18	第5回 先輩と夢を語ろう 講師及び参加者募集のお知らせ
2013/09/01	同窓会 2013年度定期総会開催のお知らせ
2013/09/01	平成25年度 第1回理事会 及び 第1回常任理事会開催のご報告
2013/09/07	平成25年度 第1回理事会 及び 第1回常任理事会 が開催されました（同窓会ブログ）
2013/10/13	伊奈学OGシンガーソングライター早川真理子さんを招いてのLIVEパーティー（同窓会ブログ）
2013/10/14	執行部組織図 更新
2013/10/22	同窓会規定 更新
2013/12/17	24期生同窓会 開催予定！
2014/01/08	同窓会会報誌 Inajin vol. 35掲載

第5回先輩と夢を語ろう報告書

平成26年 3月 9日先輩と夢を語ろう担当 石川

1・概要

平成25年11月12日(火)PM3:30~5:00伊奈学園総合高等学校において「第5回先輩と夢を語ろう」を開催しました。本年度も昨年に引き続き火曜日の7時間目を利用しての開催となりました。

内容も昨年同様参加希望者を全学年より募り講師1名に対し数名の生徒という座談会形式にて語り合っていました。また本年もPTAおよび後援会の皆さまの支援を頂戴いたしました。

2・当日までの動き

4月より開催時期、開催方法について学校側担当者の尾花先生と打ち合わせ。

7月日時確定、全学年対象で希望制、授業方式ではなく少人数での座談会方式を採用することで決定。

8~9月講師選定、エントリーシート提出してもらう。この際実際の仕事の際の写真などを提供してもらう。

10月学校側生徒募集開始。モールに参加講師のプロフィール写真などを混ぜて掲示

11月講師及び参加者希望をもとに割り振り。人数の多いところは授業方式、座談化方式

人数の少ないところは飛び込み参加も可能とする。

3・当日

各講座にわかれて開催。大会議室では少人数の講師の講座をまとめて開催。当日飛び入りの生徒を迎えることができました。受付他スタッフとして石川・濱野・佐藤が同窓会から参加しました。終了後県民活動センター内コバトンカフェにて懇親会を行いました。尚講師には交通費として後援会様から一人当たり5000円いただきました。

5・まとめ

今年度も平日の午後開催ということになってしまいましたが、そんな中でも多数の講師の方に参加していただき無事開催することができました。純粋に希望を募っての開催だっただけに生徒さんのほうもしっかり聞けたという意見が多かったようです。今年は生徒側参加者が昨年より若干減少してしまい80名程度の参加でした。

掲示に足を止めて真剣に見てくれる生徒さんが多かったようでそれだけでもこの企画の成果があったのではと思います。また当日飛び入り参加できるようにしたので、モールの掲示板の前で生徒に声かけをしてみました。何人かですが迷っていたけど聞いてみたいですよという生徒さん達がいて参加のほうに後押しできたのは良かったと思います。

しかしながら数名生徒さんのいらっしやらない講師の方が出てしまい残念な思いをいたしました。来年度以降の募集方法やこういった方たちの対処法を来年度は考えていきたいと思っています。

第4回いなじん交流会開催報告

いなじん交流推進委員会委員長

6期・畠山 篤士

第4回いなじん交流会

通称「いなじんたまり 107 2013-season1」

①開催概要

2013年8月4日（土）16:30～19:30

場所：オモプラッタ ロケットビル店

会費：男性5000円・女性4000円・小学生1000円・未就学児無料

上記日時で開催しました。ドレスコードを浴衣にする案があったので、浴衣や甚平限定で開催いたしました。また、ソーシャルメディア、ソーシャルマーケティング業界で活躍されている9期の白鳥氏を演者とし、/-, を活用した実践的なビジネス戦術を講演して頂きました。企画そのものは興味深い内容であったが、人数は16人で更に参加者が集まれる企画をしていく必要性を感じました。

②当日

開始1時間前から準備開始。前回に引き続き、卒業生によるアトラクション企画を実施した。目は、本学同窓生が、多分野で活躍している現状を紹介することにあります。今回は、『あなたの好きなお客様だけ集める魔法のFacebook実践活用術』で9期の白鳥友康に講演頂きました。

③会計報告

参加人数 16名 経費より8,000円充当（内訳は下記参照）

《会計内訳》

収入 72,000円（参加費男性11人55,000円/女性4人16,000円/小学生1人1,000円）

支出 80,000円（白鳥氏の参加費は無料、1人キャンセルも出たため、8千円増となっております。）
予算内の範囲での処理を致しました。

④開催後感想

交流会を盛り上げる企画や趣向をさらに工夫すれば、参加者を増やすことが出来る可能性を感じました。また、いつもの同じメンバーにならないように、募集方法の工夫も必要かと思われます。

創立30周年記念式典関係

- 1 場 所 大宮ソニックシティ (大小ホールおよび市民ホール)
- 2 日 時 平成25年10月12日 (土)
- 3 時 程
- | | | |
|------------|-------------|--------------------------|
| 10月11日 (金) | 13:00~22:30 | 設営・リハーサル (リハーサルは18:00より) |
| 10月12日 (土) | 9:00~12:00 | 式典準備・リハーサル |
| | 12:30 | 生徒点呼完了 |
| | 12:30~12:45 | 予行・諸注意 |
| | 13:00~14:00 | 記念式典 |
| | 14:15~15:30 | 記念講演 (藤嶋 昭 氏) |
| | 15:45~16:40 | アトラクション |
| | | ①応援チアリーディング部 |
| | | ②音 楽 部 |
| | | ③吹奏楽部 |
| | 17:00~18:30 | 祝賀会 (市民ホール) |

4 記念式典関係

(1) 参加者数

大ホール (2, 495席)

◎来 賓 142名

◎高校教員 60名 (担任:客席で生徒の指導、担任外:受付などの業務)

◎高校生徒 2400名 (応援チアリーディング部員、音楽部員は式典時楽屋、吹奏楽部員は式典時ステージ上)

小ホール (492席)

◎来 賓 108名

◎中学教員 15名

◎中学生徒 240名

(2) 役割分担 (別紙)

(3) 次 第 (別紙)

5 記念講演関係

- (1) 講 師 藤嶋 昭 氏 (東京理科大学学長)
- (2) 演 題 「身のまわりの自然現象に感動しつつ学ぼう」
- (3) 経 歴 等 別紙
- (4) お礼の言葉 6D 樋口亮平
- (5) 花束贈呈 3G 野村映里佳、5F 三瓶夏葵

6 アトラクション

①応援チアリーディング部 (10分)

- ・Do it!
- ・Pom FUNK
- ・Passion Bom

②音 楽 部 (20分)

- ・はじまり
- ・30周年メドレー (思い出がいっぱい ~ 地上の星 ~ 花は咲く)
- ・瑠璃色の地球

③吹奏楽部 (20分)

- ・ルパン3世のテーマ
- ・銀河鉄道999
- ・世界に一つだけの花
- ・オーメンズ・オブ・ラブ

7 祝賀会関係

- (1) 場 所 大宮ソニックシティ 4階 市民ホール
- (2) 次 第 別紙
- (3) 参加者数 (182名)
- ◎来 賓 158名
- ◎高校教員 24名

8 記念品関係 (別紙)

創立30周年記念式典（役割分担）について

1. 日時 平成25年10月12日（土）
 第1部 記念式典 13:00～
 第2部 記念講演 14:15～（講演終了後に記念碑と記念施設の紹介）
 アトラクション 15:45～
2. 場所 大宮ソニックシティ大小ホール、および市民ホール

3. 日程

[10月11日（金）]

- 13:00 ソニックシティ入館・会場仕込み（実行委員会）
 受付設置
 袋詰め準備（担当：市川ハウス長・アトラクション出演生徒）
 18:00 リハーサル（アトラクション）

[10月12日（土）]

- 9:00 ソニックシティ入館・会場仕込み（実行委員会）
 10:00～12:00 リハーサル
 11:00 職員打合せ（場所：大ホール客席）
 12:00 ホール入場開始
 12:30 生徒点呼完了（ホール内）
 12:30～12:45 予行・諸注意
 13:00～14:00 記念式典
 14:15～15:30 記念講演（藤嶋 昭 氏）
 15:30～15:35 記念碑および記念施設の紹介
 15:45～16:40 アトラクション（応援チアリーディング部、音楽部、吹奏楽部、司会：放送部）

4. 係分担

係	担当職員	生徒	仕事内容
総務 (連絡調整)	実行委員会		<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 司会進行表作成 詳細日程作成（当日の動き） 記念品、袋、リーフレット作成及び袋詰め 招待者把握、受付簿作成 掲示物作成、張り付け 招待者欠席者への記念誌送付等
受付・案内			<ul style="list-style-type: none"> 受付準備（テーブル、椅子、案内板等） 受付チェック、記念品、胸花等 控室での接待 *大小ホール受付は12:00～ *市民ホール受付は16:50（アトラクション終了後）～
	(大ホール) 教務部 9名 来賓① [河本、関] 来賓② [西澤、清水、西野] 来賓③ [廣瀬、藤沼、黒田、藤村] ※祝賀会費徴収	14名	<ul style="list-style-type: none"> ①来賓受付（登壇される方）→舞台裏控え室へ ②来賓受付（大ホール客席に案内する方） ③来賓受付（旧職員、学校医、PTAOB会正副会長）
	(小ホール) 学習指導部 6名、進路指導部 6名 実行委員会 4名 受付 [浦山、弥永、川田、矢嶋、松本靖、千田、穂山] 祝賀会費 [矢嶋、野口、田沼、増山、新井奈、金井] 実行委員会 [乾、畠山、箱田、藤間]	7名	<ul style="list-style-type: none"> ④新旧PTA・後援会関係、同窓会理事、3人卒業生保護者、PTAOB会
	(市民ホール) 渉外広報部担任外の先生 6名 [小川、関、寺田、金指、中林、前田]		<ul style="list-style-type: none"> 祝賀会受付 昼食場所として使用する(11:00～12:15) 生徒の指導
	(大ホール案内) 保健環境部 8名、進路指導部 6名 受付～控え室（来賓①） [松田、剣持] 大ホール来賓席付近 [川島、関口、井組] 受付～小ホール [濱屋、宇津木、岩上] 終了後、市民ホール [黒沢、吉川、岩崎、岡安、伊東、大谷] (接待) 事務局・実行委員会 3名 [渡邊、阿南、塚田]	20名	<ul style="list-style-type: none"> 受付から控え室（来賓①の方）誘導 大ホール来賓席付近での案内 受付から小ホールへの誘導
会場	特別活動部担任外の先生 10名 1階LA以外各扉付近 [増田、徳山、塚本、安城] 1階階段付近 [岩下] 2階各扉付近 [鈴木、赤沼、斉藤、木下、波田野]		<ul style="list-style-type: none"> 大ホール内およびロビーでの生徒誘導
警備	生徒指導部担任外の先生 8名 [金木、八木、渡邊、杉田、関口、金田、井上、安田]		<ul style="list-style-type: none"> 会場周辺での警備・誘導（最寄り駅～会場）
司会・進行	○ 國弘		<ul style="list-style-type: none"> 司会進行、補助
記録	情報管理部 3名 式典～アトラクション [高橋成、島崎]	3名 (写真部)	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ撮影 写真撮影等
アトラクション生徒指導	各部顧問（応援チアリーディング部、音楽部、放送部、吹奏楽部）		<ul style="list-style-type: none"> 出演生徒の指導
生徒把握（誘導・点呼）	各担任		<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導・誘導および出席点呼 服装頭髪指導等
救護	橋本、山田、杉山 3名		<ul style="list-style-type: none"> 救護

埼玉県立伊奈学園総合高等学校
創立30周年記念式典

日時：平成25年10月12日（土）
13：00～14：00

会場：大宮ソニックシティ
大ホール・小ホール

司会：國弘雅也 教諭

次 第

来賓入場

《 ファンファーレ 》	13：00
1 開式のことば	谷部貴一 副校長
2 国歌斉唱	指揮：宇畑知樹 教諭 伴奏：吹奏楽部
3 校長式辞	足立哲也 校長
4 実行委員長あいさつ	金子昭二 実行委員長
5 埼玉県教育委員会のことば	春山賢男 県立学校部長
6 来賓祝辞	
(1) 埼玉県議会	岡地 優 県議会議員
(2) 高等学校長協会	平野正美 県高等学校長協会副会長
(3) 歴代校長代表	倉橋政道 第5代校長
7 来賓紹介・祝電披露	神田剛広 教頭
8 生徒代表のことば	松岡慶一郎 学園生徒会長
9 校歌斉唱	指揮：宇畑知樹 教諭 伴奏：吹奏楽部
10 閉式のことば	谷部貴一 副校長
《 ファンファーレ 》	14：00
来賓退場	

埼玉県立伊奈学園総合高等学校
創立30周年記念祝賀会

日時：平成25年10月12日（土）
17:00～18:30
会場：大宮ソニックシティ4階
市民ホール
司会：松田和子 元副会長

次 第

- | | |
|-----------------|---|
| 1 開会のことば | 渡邊明美 元副会長 |
| 2 挨拶 | |
| (1) 実行委員長 | 金子昭二 実行委員長 |
| (2) 伊奈学園総合高等学校長 | 足立哲也 校長 |
| 3 乾杯 | 東 和寛 後援会会長 |
| 4 祝辞 | |
| (1) 学校評議員 | 町田伸吉 伊奈町商工会副会長 |
| (2) 歴代校長 | 青木秀夫 第6代校長 |
| 5 表彰 | 柴崎政美 PTA会長
介添え：高野恵子 副会長
玉木晴美 副会長 |
| (歓談) | ※創立30周年記念DVD上映
※顧問あいさつ ①芹川眞澄 第8代校長
②葛山城治 元PTA会長
③金子桂一 元同窓会会長 |
| 6 締め | |
| (1) 同窓会会長 | 村松 猛 同窓会会長 |
| (2) 伊奈学園中学校長 | 高橋和治 校長 |
| 7 お礼のことば | 谷部貴一 副校長 |
| 8 閉会のことば | 小野田真弓 元副会長 |

事務局関係について

1 事業総括アンケート（教職員分）

○式典関係

- ・式典当日、来賓の案内について吹奏楽部員がしっかりと案内をしてくれた。スムーズだった。
- ・VIP の方々の顔写真があり、スムーズに案内できた。

○経理関係

- ・直前の 5 年間で費用を積み立て、利用する世代の費用負担がないことはおかしいので、31 年目から次の周年行事に向けて積み立てを始めるとよい。

2 記念品の残部について（案）

○ペーパーウェイト … 910 個

- ①配布対象を本校生徒とする
- ②全校表彰対象者への記念品に充てる
参考

- 当初発注計 予定：来賓・PTA 用(1000)、教職員用(200)、予備(300)
- 招待状送付 859 → 出席回答 275 (8月確認)

○記念タオル … 89 枚

- ①配布対象を実行委員とする
- ②残部は管理棟保管とし、来客等へ記念品としてお渡しする

3 会計処理後の残金について（案）

○残額 ¥1,524,667

○処理 : 出資比率による返納

¥952,917- (後援会へ)
571,750- (同窓会へ)

以 上

平成25年度 創立30周年記念事業決算報告書

収入決算額	15,983,857
支出決算額	14,459,190
差引残額	1,524,667

収入の部

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減額	摘 要
1 繰越金	14,983,857	14,983,857	0	平成24年度から繰越
2 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	後援会会計から
3 雑収入	1,000	0	△ 1000	
計	15,984,857	15,983,857	△ 1000	

支出の部

科 目	予 算 額			決算額	予算残額	摘 要
	当初予算額	流用増減額	予算現額			
1 総務費	1,483,857	0	1,483,857	969,685	514,172	
通信費	134,000	99,715	233,715	233,715	0	式典返信用・祝賀会通知はがき、通知等発送用切手
印刷製本	710,000	0	710,000	398,161	311,839	案内状、ポスター、式典次第・来賓名簿等印刷
消耗品費	639,857	△ 99,715	540,142	337,809	202,333	胸花、手提げ袋、吊り下げ名札、賞状・筒等
2 式典費	4,500,000	0	4,500,000	4,133,115	366,885	
会場費	2,500,000	0	2,500,000	2,342,265	157,735	会場使用料、舞台製作費等
記念品費	2,000,000	0	2,000,000	1,790,850	209,150	記念品(ペーパーウェイト、タオル)代
3 記念行事費	1,000,000	△ 158,350	841,650	419,400	422,250	
講師謝金	500,000	0	500,000	300,900	199,100	記念講演講師謝金
アトラクション	300,000	0	300,000	118,500	181,500	楽器運搬代
雑費	200,000	△ 158,350	41,650	0	41,650	記念誌編集製作費へ流用
4 祝賀会費	1,000,000	0	1,000,000	910,240	89,760	
会場費	200,000	23,640	223,640	223,640	0	会場使用料、看板製作費等 委託料から流用
委託料	800,000	△ 23,640	776,360	686,600	89,760	祝賀会補助 会場費へ流用
5 記念誌作成費	3,000,000	408,450	3,408,450	3,408,450	0	
編集制作費	2,800,000	608,450	3,408,450	3,408,450	0	記念誌製作費(記念行事費雑費、記念誌作成費雑費、予備費から流用)
雑費	200,000	△ 200,000	0	0	0	記念誌編集製作費へ流用
6 施設整備費	4,500,000	0	4,500,000	4,367,400	132,600	
工事費	1,400,000	0	1,400,000	1,400,000	0	中央図書館拡張工事
備品購入費	2,800,000	0	2,800,000	2,800,000	0	中央図書館書架等一式
雑費	300,000	0	300,000	167,400	132,600	中央図書館拡張工事、中央図書館書架等一式
7 予備費	501,000	△ 250,100	250,900	250,900	0	
予備費	501,000	△ 250,100	250,900	250,900	0	記念碑代、 記念誌編集製作費へ流用
計	15,984,857	0	15,984,857	14,459,190	1,525,667	

上記のとおり決算報告いたします。

平成25年12月24日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校創立30周年記念事業実行委員会委員長 金子昭二

上記は平成26年12月24日監査の結果適正であることを認めます。

監事 吉井 良夫 ㊟

監事 後藤 昌弘 ㊟

2014年度予算計画(2013年9月8日定期総会で承認済)

自 2014年 4月 1日
(単位:円) 至 2015年 3月31日

科目	予算額	備考
I 収入の部		
会費・入会金収入	4,000,000	卒業生入会金 800人×5,000円
会報誌広告料収入	150,000	広告料30,000円×3件 15,000円×4件
その他収入	5,000	寄付金 預金利息等
会報誌継続購読料繰入収入	547,950	継続購読料残金 6,000円×89人+振込手数料
当期収入合計(A)	4,702,950	
II 支出の部		
1.運営費		
会議費	100,000	会場費、飲食費、案内送付費、他 (定期総会1回、理事会2回、四役会2回、各種委員会費)
庶務費	100,000	決算書作成費、振込手数料、残高証明書料、他
名簿維持管理費	10,000	名簿補正・維持管理費、他
ウェブサイト維持管理費	70,000	サーバ代、他
慶弔費	450,000	卒業時記念品、他
備品費	50,000	備品、他購入費
物品保管費	10,000	備品、他保管費
小計	790,000	
2.事業費		
会報誌制作費	740,000	会報誌1回/年・制作運営経費
会報誌等印刷費	654,000	会報誌1回/年・印刷費、未来へのはがき1,000部印刷費
会報誌通信費	1,502,000	会報誌1回/年(メール便約21,000部、封入・宛名印字・発送準備)
いなじん交流会事業費	90,000	年2回 会員のための交流会を開催
HCP事業費	50,000	会議費及びスタッフの参加費等
記念事業費	200,000	「先輩と夢を語ろう」講師謝礼、他
年次活動支援事業費	500,000	助成金50,000円×27期=1,350,000円×0.35、他
部活動支援事業費	300,000	全国大会出場部活への支援
会報誌継続購読返金(過年度分)	534,000	会報誌継続購読料返金 6,000円×89人
会報誌継続購読返金振込手数料	13,950	会報誌継続購読料返金 振込手数料
小計	4,583,950	
3.予備費	0	
当期支出合計(B)	5,373,950	
当期収支差額(A)-(B)	▲ 671,000	
前期繰越収支差額	671,000	
次期繰越収支差額	0	

(仮称) 伊奈学園同窓会創立30周年記念事業の提案 (4期・村松猛)

昨年(2013年)10月12日(土)に開催された伊奈学園創立30周年記念事業から3年後にあたる2016年10月に、30,000人になろうとしようとするすべての卒業生を対象とした、おそらく初めての同窓会周年行事を開催したく提案させていただきます。基本的には会費制にするつもりですが内容によっては予算を要求します。

例えば大きな施設もしくは野外スペースなどを使用し、ステージでは卒業生によるアトラクション・屋外スペースでは卒業生飲食店のグルメブースを設置など、内容はあくまで実行委員会にて提案から始めたいと思います。ざっくりですがタイムスケジュールを作成しました。

2014年2月 四役会にて開催の提案

2014年3月 理事会にて開催の提案

2014年4月 (仮称)「伊奈学園同窓会創立30周年記念事業実行準備委員会」発足

2014年5月 第1回実行準備委員会開催

2014年6月 第1回四役会にて事業内容・予算の提案、開催の審議

2014年7月 第1回理事会にて事業内容・予算の提案、開催の審議

2014年9月 通常総会にて事業開催の審議

2014年11月 第2回実行準備委員会開催

2015年2月 第2回四役会にて事業内容・予算の審議

2015年3月 第2回理事会にて事業内容・予算の審議

2015年4月 (仮称)「伊奈学園同窓会創立30周年記念事業実行委員会」発足

2015年5月 第1回実行委員会開催

2015年6月 第1回四役会にて事業内容・予算(修正案)の審議

2015年7月 第1回理事会にて事業内容・予算(修正案)の審議

2015年9月 通常総会にて事業内容・予算の審議

2015年11月 第2回実行委員会開催

2016年2月 第2回四役会にて事業内容・予算(修正案)の審議

2016年3月 第2回理事会にて事業内容・予算(修正案)の審議

2016年5月 第3回実行委員会開催

2016年6月 第1回四役会にて事業内容の最終確認

2016年7月 第1回理事会にて事業内容の最終確認

2016年9月 通常総会にて事業内容の最終確認

2016年9月 第4回実行委員会開催

2016年10月 (仮称)「伊奈学園同窓会創立30周年記念事業」開催

2016年12月 第5回実行委員会開催

交通費支給規定の新設について

● 支給理由

① 経済的負担の軽減

同窓会活動に従事する正会員には、所得が無い人^(注)も含まれます。そのような人に経済的な負担を強いることは好ましくないこと、また、所得があっても生活の拠点が埼玉にない人の負担の軽減に配慮する必要があります。

(注) 主婦や学生など。また、将来的には所得は年金だけとなる会員も出てきます。

② 必要経費に該当

同窓会の業務のために発生した交通費は、トナー代やコピー代と同様に同窓会活動に伴って発生する必要経費に該当します。経費は個人負担ではなく同窓会費から支出することが適切です。

● 支給対象者

同窓会役員（会長、副会長、専門委員長、理事、監事、会計）

● 支給対象業務

同窓会の会議に業務として出席^(注)する際の交通費

(注) 業務として出席する会議は、以下のものをいいます。

- ① 会長、副会長、専門委員長、および会計：総会、四役会および理事会
- ② 理事：理事会
- ③ 監事：監査報告を行う際の総会

● 支給金額

公共交通機関^(注1)を利用し、原則として自宅から目的地までの合理的かつ安価な経路の実費^(注2)を、1日あたり3,000円を限度に支給します。

(注1) 鉄道、バス等をいいます。マイカーのガソリン代は含みません。

(注2) 普通運賃のみを対象とし、特急料金は含みません。また、定期区間は支給しません。外出先から直行する場合など、自宅以外から目的地までの費用よりも安価な場合には、実際にかかった交通費を支給します。

● 支給方法

① 四役については、他の経費の精算と合わせて口座振込とします。

② 理事および監事については、出席する会議の開催案内で定める期日^(注1)までに目的地までの経路および金額を申請してもらい、開催当日に現金で支給します。

(注1) 1週間前程度を想定しています。原則として、当日や後日の申し出による精算は行いません。

(注2) いずれの場合も、年度をまたがっての精算は行いません。

● その他

重複する支給要件を排除する観点から、この規定の成立に伴い、細則第8条（会議費用）で定める飲食店を会場として利用する場合の費用（出席者1名あたり1,500円）を廃止します。なお、将来的には、会議以外のすべての同窓会業務^(注)を遂行するために発生した交通費を対象とします。

(注) 今回対象とする業務の他、専門委員会の会議や学校行事への招待、業務引継のための打合せなどがあります。これらは、業務ごとにかかる年間の交通費を把握してから、支給範囲や支給方法について検討します。

交通費支給規程（案）

（交通費）

第1条 交通費とは、正会員が本会の業務により鉄道、バス等の公共交通機関を利用する場合の費用を12。なお、公共交通機関以外の交通手段（マイカー等）に対する交通費は一切支給しない。

2. 鉄道運賃は普通運賃を支給する。急行料金、特急料金、座席料金は支給しない。

（交通費の支給対象）

第2条 交通費の支給対象は次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、専門委員長および会計が、本会会則第12条に定める会議に出席するための交通費
- (2) 理事が理事会に出席するための交通費
- (3) 監査が監査報告を行う総会に出席するための交通費

（交通費の支給額）

第3条 交通費の支給額は自宅から会場までの往復の実費とし、1日あたり3,000円を限度とする。なお、交通費の支給を受ける者は、会場までの経路および交通機関について、合理的かつ安価なものを選択するように努めなければならない。

2. 前項にかかわらず、自宅以外の場所から会場に向かう場合や、定期区間が経路に含まれている場合などで、その交通費の方が安価であれば、実際にかかった交通費を支給する。

（交通費の申請手続）

第4条 理事会の交通費については、開催案内で定める期日までに会長に会場までの経路および金額を届け出なければならない。

（交通費の精算）

第5条 理事会の交通費については、開催案内で定める期日までに申し出があったものについては開催当日に精算することとし、後日の精算は原則として行わない。

2. 前項以外の場合の交通費は、業務を終えた後、当該会計年度中に精算をしなければならない。

2014年)月x日実施

(例) 理事会の交通費精算

- ①出席理事はメールで経路と料金を会計担当者に連絡する。
- ②会計担当者は、経路と料金に誤りが無いかチェックし、一覧表にまとめる(表1)と共に出席者ごとの精算額を現金で用意する。
- ③出席者は、理事会当日に会計担当者が用意した現金に誤りが無いかチェックし、受領確認書の署名欄に受取の署名を記入する(表2)。

表1 2014年度 第1回理事会 交通費申請書

役職	年次	名前	摘要	金額
会長	1期	伊奈 忠次	大宮⇄武蔵浦和 (JR@160×2)	320
副会長	2期	伊奈 忠政	さいたま新都心⇄武蔵浦和 (JR@160×2)	320
副会長	3期	伊奈 忠治	戸田公園⇄武蔵浦和 (JR@150×2)	300
専門委員長	4期	伊奈 忠克	羽貫⇄大宮 (埼玉新都市交通@340×2)、大宮⇄武蔵浦和 (JR@160×2)	1,000
専門委員長	5期	伊奈 忠常	上尾⇄武蔵浦和 (JR@320×2)	640
専門委員長	6期	伊奈 忠篤	与野本町⇄武蔵浦和 (JR@150×2)	300
専門委員長	7期	伊奈 忠順	南浦和⇄武蔵浦和 (JR@130×2)	260
専門委員長	8期	伊奈 忠連	和光市⇄朝霞台 (東武線@140×2)、北朝霞⇄武蔵浦和 (JR@160×2)	600
理事	9期	伊奈 忠辰	小伝馬町⇄上野 (東京メトロ@160×2)、上野⇄武蔵浦和 (JR@380×2)	1,080
理事	10期	伊奈 忠宥	吹上⇄武蔵浦和 (JR@570×2)	1,140
理事	11期	伊奈 忠敬	今羽⇄大宮 (埼玉新都市交通@240×2)、大宮⇄武蔵浦和 (JR@160×2)	800
理事	12期	伊奈 忠尊	目白⇄武蔵浦和 (JR@290×2)	580
合計				7,340

表2 2014年度 第1回理事会 交通費受領確認書

役職	年次	名前	金額	署名
会長	1期	伊奈 忠次	320	
副会長	2期	伊奈 忠政	320	
副会長	3期	伊奈 忠治	300	
専門委員長	4期	伊奈 忠克	1,000	
専門委員長	5期	伊奈 忠常	640	
専門委員長	6期	伊奈 忠篤	300	
専門委員長	7期	伊奈 忠順	260	
専門委員長	8期	伊奈 忠連	600	
理事	9期	伊奈 忠辰	1,080	
理事	10期	伊奈 忠宥	1,140	
理事	11期	伊奈 忠敬	800	
理事	12期	伊奈 忠尊	580	

以上